



「差別の現実から 深く学ぶ」

徳島県人権教育研究協議会

坪井 次郎 さん

徳島県人権教育研究協議会（以下県人教）は「差別の現実から深く学ぶ すべての人の人権が尊重される社会を実現する教育を確立しよう」を研究主題として「ひとりの百歩より 百人の一步前進」を合い言葉として、1950年11月に「徳島県同和教育研究会」として発足し、以来76年間にわたり、同和問題の完全解決とすべての人の人権が保障される社会の実現のため確かな年輪を刻んできました。

しかしながら、私たちの身の周りには、同和問題をはじめ、子ども、高齢者、女性、性の多様性、障がい者、外国人に対する人権問題

などが今なお現存し、また、高度情報化社会が進む中でインターネットによる人権侵害が発生するなど、基本的人権が十分に保障されず、難しい状況にあります。

このように多岐にわたる人権問題は、私たち一人ひとりの課題であり、人権尊重の担い手であることを深く認識し、自分のこととして捉え、その解決のために主体的に取り組み、人権尊重のまちづくりの実現に向けて、より一層の人権教育・啓発が急がれるところがあります。

また昨年は「同和对策審議会答申」が出されて60年、「部落地名総鑑」差別事件発覚から50年目となっていますが、未だ同和問題の解決に至らず、近年においてもインターネットを利用し、同和地区を撮影し動画配信するなど悪質な部落差別行為が起きています。私たちは改めて一日も早い部落差別解消をめざし、その取り組みと実践に務めることを忘れてはなりません。

さらには、ウクライナやガザ地区、イランでの悲惨な戦争は、人々の尊い命や家族、幸福をも奪う最大の人権侵害であります。戦後80年の今、平和や人権の尊さを考え原点に立ち返って、国民が戦争の

ない国のあり方を真剣に考えるときが来ています。

私たちは、戦争のない平和な社会を次の世代にどのように受け継いでいくのかも、真剣に考えていかなければなりません。

県人教の主な組織は、次のようになっています。

- ・学校教育部会（就学前人権教育研究会、小学校人権教育研究会、中学校人権教育研究会、高等学校・特別支援学校人権教育研究会）
- ・社会教育部会（24市町村人権教育【推進、振興】協議会）
- ・進路部会（関係機関）
- ・徳島県大学人権教育研究協議会（3大学・1高専）

以上の組織で、「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」や「徳島県人権教育推進方針」などに基つき、学校（園・所）・家庭・地域・企業・関係機関と連携し、人権教育・啓発の推進を図っています。

問い合わせ 人権・男女共同参画課

☎22-3094

同和問題講演会を開催します

すべての人の人権が尊重される社会の実現をめざし、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題について、知識と理解を深める機会として、同和問題講演会を開催します。



日時 7月18日(土) 13:30~15:00
場所 夢ホール(文化会館)
演題 「変容する現代社会の部落差別」
講師 大阪公立大学 教授 阿久澤麻理子さん
 ※駐車台数が限られていますので、乗り合わせまたは公共交通機関のご利用にご協力ください。
 ※悪天候などにより、中止となる場合は市ホームページでお知らせします。

問い合わせ 人権・男女共同参画課 ☎22-3094